

目 次

第3版はしがき
第2版はしがき
はしがき
重要判例一覧
凡 例

第Ⅰ編 総 論

第1章 憲法とは	2
1 憲法とは何か	2
2 憲法史における「近代」と「現代」	5
3 人権の国際的保障	6
第2章 日本国憲法の成立と特色	8
1 日本の2つの憲法典	8
2 日本国憲法前文	15
3 最高法規としての日本国憲法	16
第3章 平和主義	19
1 日本国憲法における平和主義の特色	19
2 再軍備と日本国憲法9条の解釈	21
3 日米安全保障条約	25
4 1990年代以降の日本国憲法9条	27

第2編 基本的人権

第4章	人権の歴史と類型	40
1	人権の歴史	40
2	人権の分類	43
第5章	幸福追求権	46
1	幸福追求権と個人の尊重	46
2	新しい人権	48
第6章	法の下での平等	56
1	平等思想の展開	56
2	平等条項の意味	58
3	個別的な差別問題	60
第7章	精神的自由権(1)——思想・良心の自由，信教の自由，学問の自由——	70
1	精神的自由権	70
2	思想・良心の自由	71
3	信教の自由と政教分離の原則	74
4	学問の自由	80
第8章	精神的自由権(2)——表現の自由——	83
1	表現の自由の保障の意義	83
2	表現の自由の内容	84
3	表現の自由の限界	91
4	表現内容に関する規制	95
5	表現方法に関する規制	99

6	集会・結社の自由	101
7	通信の秘密	104
第9章	経済的自由権	106
1	職業選択の自由	106
2	財産権	110
3	居住・移転の自由	117
第10章	人身の自由と適正手続の保障	120
1	奴隷的拘束・苦役からの自由	120
2	適正手続の保障	121
3	被疑者の権利	123
4	被告人の権利	127
第11章	生存権	134
1	社会権の意義	134
2	生存権の保障	136
第12章	教育を受ける権利	141
1	教育を受ける権利	141
2	教育への公権力の関与のあり方	144
第13章	労働者の権利	149
1	労働者の権利	149
2	公務員の労働基本権	153
第14章	受益権・参政権および義務	158
1	受益権	158
2	参政権	161
3	国民の義務	164

第 15 章	人権の限界	166
1	人権保障と制限——大日本帝国憲法と日本国憲法	166
2	「二重の基準」論	169
第 16 章	人権の享有主体	172
1	「外国人」の人権	172
2	「法人・団体」の「人権」	176
3	未成年者の人権	179
第 17 章	人権保障のおよぶ範囲	181
1	特別の法律関係	181
2	私人間における人権の保障	185

第 3 編 統 治 機 構

第 18 章	国民主権と象徴天皇制	190
1	国民主権	190
2	象徴天皇制	192
第 19 章	国 会	201
1	国会の地位	201
2	国会の組織	206
3	国会の活動方法	209
4	国会の権限	210
5	議院の権限	213
6	国会議員の特権	216

第20章	内閣	218
1	内閣の性格と地位	218
2	行政	221
3	内閣の組織	224
4	内閣の権能と責任	228
第21章	司法権と裁判所	232
1	司法権の概念	232
2	司法審査の限界	236
3	裁判所の組織と権能	240
4	司法権の独立	246
第22章	違憲審査制	249
1	違憲審査制の根拠・性格	249
2	付随的違憲審査制の内容・特質	251
第23章	財政	260
1	財政の基本原則	260
2	国の財政支出の過程とその統制	262
第24章	地方自治	267
1	地方自治の意義	267
2	地方公共団体の意味と機関	269
3	地方公共団体の権能	271
4	住民の権利	276
第25章	憲法改正と改憲論議	279
1	憲法改正	279
2	改憲論議	283

参考文献 287

判例索引 289

事項索引 295

【資料】 日本国憲法 299

コラム目次

- ①イギリスの「憲法」 3 ②さまざまな憲法草案 10 ③ベアテ・シ
ロタさん 11 ④監視カメラ 51 ⑤積極的差別是正措置（アフマ
ティブ・アクション，ポジティブ・アクション） 58 ⑥神道指令 77
⑦冤罪・誤認逮捕 131 ⑧教育基本法の改正 146 ⑨「二重の基準」
論と最高裁判例 170 ⑩天皇の人権 180 ⑪女帝論議 195 ⑫議
員立法 204 ⑬首相公選論と国民内閣制 226 ⑭市町村合併 270
⑮憲法制定権力（制憲権） 283 ⑯9条の会（アピール文） 285